

村報 筑北

第27号

平成22年3月19日発行

編集 筑北村総務課
〒399-7601
長野県東筑摩郡筑北村坂北2187番地
電話 0263-66-2211
FAX 0263-66-3656
ホームページ
http://www.vill.chikuhoku.nagano.jp

筑北村の人口

総人口	5,538 人
男	2,686 人
女	2,852 人
戸 数	2,004 戸

(平成22年2月28日現在)

宮崎 茂子さん
宮下 文さん
矢口 泰弘さん
山崎 広道さん
若林 秀幸さん
渡辺 武喜さん
(五十音順)

①人口増加対策
都市との交流を深め移住希望者の受入を円滑にするためには何をすべきかを考えていきます。

②健康寿命の延伸
健康で生涯現役でいるための対策として何ができるかを考えていきます。

筑北村総合計画審議会

筑北村総合計画審議会の設置目的は、平成19年度を初年度とする10年間の村政運営の総合的な指針となる「第一次筑北村総合計画」の進捗管理や計画の見直しについて、審議いただくとともに委員の方が日ごろ感じている村政運営に対するご意見を「提言」という形でいただき、計画及び村政運営に反映させることです。

前任の審議会委員の任期満了に伴い、改めて審議会委員として18名の皆さんを委任し、去る1月21日に第1回の審議会を開催しました。その席上で会長に滝澤悦雄さん、副会長に滝澤千代江さんが選出されました。

また、3月1日には、第2回の審議会を開催し、平成21年度に実施した事務・事業の状況、平成22

年度から24年度の実施計画及び平成22年度の主要事業についての村側の説明に対し、実施方法の問題点や今後の計画に対するご意見、ご質問を多数いただきました。また、健康づくり、産業振興、観光振興、防災対策及び行財政運営等に関する14件の建設的な「提言」をいただき、村政運営の方向性や課題について議論されました。

審議会委員は、次の皆さんです。

会長 滝澤 悦雄さん
副会長 滝澤 千代江さん
委員 一之瀬 陽子さん
王 鷲 計さん
太田 豊 永さん
久保田 茲 朗さん
久保田 義 信さん
小林 健 司さん
嶋田 英 江さん
田口 昌 子さん
西澤 れい子さん
宮入 範 吉さん

『村づくり推進室』発足

この2月1日から村づくり推進室が活動を開始しました。体制は室長1名、職員2名です。

筑北村は、少子高齢化問題、脆弱な財政基盤など多くの課題を抱えています。今までは、一つの担当課においてそれぞれの課題を解決すべく取組んできましたが、今は横のつながりを重視し多面的に問題を見つめ直し課題を解決していくことを目指します。そのため、のつながりとしての機能を村づくり推進室が果たしていくこととなります。

村づくり推進室では以下の課題について検討を進めていくこととしています。

③温泉施設の経営改善

3温泉施設がそれぞれ特色をもった施設として運営していくための方策を考えていきます。

④地域資源を活かした産業振興

筑北村ならではの資源を活用して村の活力を高める方策を考えていきます。

どの課題も一朝一夕に解決できるものではありませんが、まずは問題点がどこにあるかを見出し、様々な方向から解決方法を見出していくことが重要です。

そのためには、村民の皆さんのお力添えが欠かせません。ご協力をお願いいたします。



自主防災組織の設立をお願いします！

☆自主防災組織とは・・・

○村民の皆さんが区や常会ごとに団結して、自主的に防災活動などを行う集まりです。

☆自主防災組織の必要性・・・

○大規模な災害が発生した場合、消防署や消防団だけでは、十分な対応ができない可能性があります。このような時、皆さんが協力し合って地域ぐるみで助け合うことが重要です。

☆どのように設立して、どのような活動をしていけばいいの？

○設立は具体化していなくても、詳細な説明は、村担当者及び消防署職員が、区や常会に伺います。地域でご相談いただき、お気軽にお問い合わせください。その地域に合った方法を一緒に考えましょう。

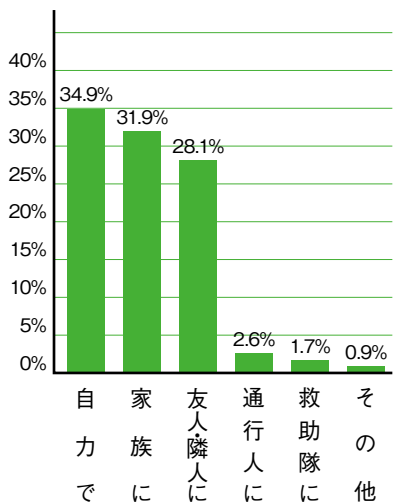
◎お問い合わせ先

総務課 総務係

電話 66-22211

阪神淡路大震災の教訓

(生き埋めや閉じ込められた際の救助)



5月27日(予定)から 大雨などの気象警報・注意報を 市町村ごとに発表します!!

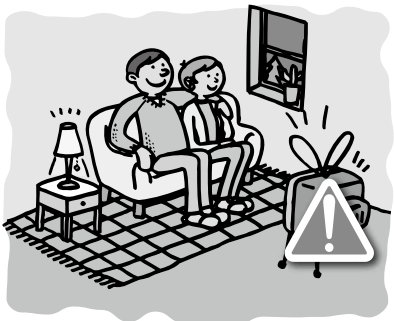
気象庁では、平成22年5月27日(予定)から、気象警報・注意報を市町村ごとに発表します。例えば、筑北村に災害発生のおそれがある場合、これまでは、筑北村を含む「長野県」、「長野県中部」に対して警報・注意報を発表していますが、改善後からは、「筑北村」を明示して発表します。これによりお住まいの場所が警戒の対象となることがわかりやすくなります。

また、大雨警報を発表する際には、特に警戒が必要な災害を、「大雨警報(土砂災害)」、「大雨警報(浸水害)」のように警報名に併せてお知らせします。

なお、テレビやラジオなどで大雨や洪水などの警報が放送されるときは、画面に表示できる文字数や読み上げ可能な文章の範囲内で伝える必要があるため、これまでどおりの地域名で放送される場合があります。

◎お問い合わせ先

長野地方気象台防災業務課
電話 026-2323213773



健康
ほっと
情報

今回のテーマ **血圧の管理**
～これで脳卒中や心臓病、腎障害を予防できる～

血圧は高くても、まったく自覚症状がないままに、血管を硬くしていきます。
平成19年度の筑北村における死亡原因は、脳血管疾患が1番でした。筑北村は高血圧の人が多く、高血圧に起因する脳梗塞により、亡くなる方が多くなっています。

家庭血圧の目安は、
125／80でしたね!

前回家庭血圧の測定の必要性をお伝えしましたが、測ってみましたか? ○○○
血圧＝血管の壁にかかっている圧力です。
この圧力が体の隅々まで血液を運んでくれているのですが、必要以上に高い血圧がかかっていると、血管がふくらんだり、傷つき、動脈瘤ができたりして血管が傷んでいきます。(高血圧からくる動脈硬化)
特に高血圧に弱いのが脳の血管です。

では、脳の血管に変化が起きてきているのか、簡単に知る方法はあるのでしょうか?
実は、眼底検査が脳の血管の変化をみている検査です。

これが、眼底写真です

おう はん
黄 斑
ちゅうしんか
中心窩

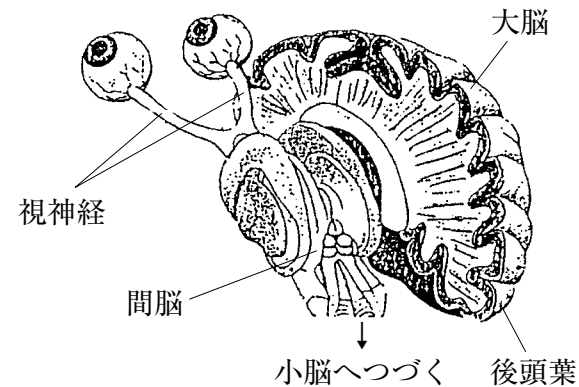
しんけいにゆうとう
視神経乳頭

出典
『私の健康記録』
保健師学習教材

眼底検査は、血管の形の変化をみます。
①狭くなったり、太さが不同になっていないか。
②ねじれが起っていないか。
③蛇行現象が起きていないか。
このような現象は、動脈硬化が進んでいるサインです。

なぜこの眼底の血管の状態を
みるのでしょうか?

それは、網膜の血管が脳の血管からの枝分れで、脳の血管の状態を推測できる、外部から見える唯一のところだからです。



出典『私の健康記録』保健師学習教材

昨年の眼底検査の結果を覚えていますか?判定で『H』は高血圧からくる変化、『S』は動脈硬化がどの程度進んでいるのか判定しています。
22年度の国保特定健診では全員の眼底写真を撮ります。国保以外の方や後期高齢者の一般健診でも自費(1,000円ほど)にはなりますが、撮影することは可能です。
是非、健診を受けて体の状況を確認していきましょう。

薬を飲んでいても、なかなか血圧が安定しない方は、主治医又は、村保健師までご相談ください。
住民福祉課健康づくり係 電話 66-2111

AED・自動血圧計・身長体重計などを
公共施設に設置しました。

村では「命と健康増進サポート整備事業」として、公共施設にAEDを10台、自動血圧計1台、乳児用・幼児用・大人用身長・体重計3台を設置しました。

器械の購入には、国の経済危機対策臨時交付金を用いています。

*AEDの設置場所

坂北庁舎・本城総合支所
坂井総合支所・坂北保育園
本城保育園・坂井保育園
坂北福祉センター・本城公民館
坂井公民館・就労センター

これまで各小中学校・温泉施設・やすらぎスポーツ広場に設置されていましたが、今回はその他の公共施設に追加設置しました。

AED(自動体外式除細動器)とは、突然心停止に陥った時、心臓に電気ショックを与え、正常な状態に戻す器械で、早期に使用するほど救命率は高くなります。

操作方法を音声でガイドしてくれるため、誰でも簡単に使用できます。また、心臓の動きを自動解析し必要な方にだけ、電気ショックを流す仕組みになっているので安心です。

いざというときに適切に使えるよう、救急法の講習会などで使用方法について学んでおきましょう。

設置場所一覧

AED	身長体重計
【新設】 ・坂北庁舎 ・本城、坂井各総合支所 ・坂井、本城、坂北各保育園 ・坂北福祉センター ・本城、坂井公民館 ・就労センター (既設) ・坂北、坂井、本城各小学校 ・聖南中学校 ・西条温泉とくら ・坂北荘 ・冠着荘 ・やすらぎスポーツ広場	【新設】 ・子育て支援センター ・坂北放課後児童保育施設 ・坂井児童館 血圧計 【新設】 ・本城公民館 (既設) ・本城総合支所 ・坂北福祉センター ・坂井公民館

*自動血圧計の設置場所
本城公民館

健康管理のためには、血圧を正常に保つことが大切です。施設にお越しの際に有効にご活用下さい。
なお、本城総合支所・坂北福祉センター・坂井公民館には既に設置されています。

*乳児用・幼児用・大人用
身長体重計の設置場所

子育て支援センター
坂北放課後児童保育施設
坂井児童館

子どもの成長の確認や、生活習慣病予防のために体重の管理は重要です。子どもから大人まで、気軽に身体測定を行って健康づくりに役立てて下さい。

「筑北村障害者自立支援センター」4月1日運営開始！

障害者が、その有する能力と適性に応じて自立した日常生活・社会生活を、住んでいる地域の中で営むことができるよう様々な日中活動に関するサービスを提供する施設、「障害者自立支援センター」ちくほつくるが平成22年4月1日に運営を開始します。

まもなく完成予定の障害者自立支援センター
「ちくほつくる」

施設での主な支援内容は

- ①生活介護支援（デイサービス）
 - ②就労継続支援（就労サービス）
 - ③相談 支援（相談サービス）
- となっており就労サービスの柱として「パン」の製作販売を予定しています。また、施設の中には喫茶スペースもあります。

地域の皆さまにご利用いただくことが障害者の自立につながります。

より多くの方に親しまれ、障害に対する理解を深めるための発信基地となりますよう、ご理解と温かいご支援をお願いいたします。

お問い合わせは

住民福祉課福祉係まで
電話 66-2111

応援ありがとうございます

～ふるさと筑北応援寄附金～

（平成21年3月～平成22年2月末）
次の方から、筑北村に「ふるさと筑北応援寄附金」をお寄せいただきました。

ありがとうございます。

します。

●水田利活用自給力向上事業

この事業は、食糧自給率の向上を図るため、水田を有効活用して、麦・大豆・そば等の戦略作物の生産を行う販売農家に対して、補償がされます。

交付対象者は、販売を行っている農家の方が対象になります。

また、交付を受けるに当たり、販売・出荷などの取引先（実需者）との契約や、栽培記録が必要にな

作物名	交付単価
麦	36,800 円／ 10a
大豆	35,000 円／ 10a
飼料作物	28,000 円／ 10a
そば・なたね・加工用米	20,000 円／ 10a
野菜・その他作物	3,000 円～ 10,700 円／ 10a
二毛作助成	15,000 円／ 10a

石田 敦信様（東京都在住）

（昨年に引き続き2回目）

引き続き「ふるさと筑北応援寄



はつらつクッキング 2010

22年度の「はつらつクッキング」を、下記の日程で行います。
この教室は、食事のバランスを考え、身近に手に入る食材を用い、簡単で手軽にできる料理を作ります。みんなでたのしく料理を作ることとおし仲間づくりもしていきましょう。
どなたでもお気軽にご都合をつけてお出かけください。

本城農村環境改善センター調理室	坂北福祉センター調理室	坂井公民館調理室
5月13日（木）	6月10日（木）	4月 8日（木）
8月19日（木）	9月 9日（木）	7月 8日（木）
11月11日（木）	12月 9日（木）	10月14日（木）
2月10日（木）	3月10日（木）	1月13日（木）

- *時間は10時から2時間半程度を予定しています。
- *エプロン、手ふき、頭をおおうもの、材料費300円をお持ちください。
- *詳しい内容や参加を希望される方は住民福祉課 健康づくり係(電話 66-2111)までご連絡ください。

附金」を募集しています。筑北村出身のいかんは問いません。

この寄附金制度に関するお問い合わせは総務課企画財政係まで
電話 66-2211

ります。

水田利活用自給力向上事業の加入申請書、栽培日誌等は、後日お配りします。

事業内容の詳細については、農家の皆さんにお配りしました農政速報、チラシ等をご覧ください。建設産業課農林係までお問い合わせください。

◆建設産業課農林係

電話 67-2002

耕作放棄地再生利用事業
についてのお知らせ

筑北村営農支援センターでは、本年度から国の事業として、全国的に増加している耕作放棄地を再生し、耕作を再開する事業を実施しています。この事業は、荒れてしまった農地を耕作できるようにし、営農面積を増やそうとする農業者に耕作してもらうという事業です。

耕作したいけれども、耕作できず何年も荒れている農地をお持ちでお困りの方、また、農地を借りて営農面積を増やそうと考えてい

る方は内容を確認、相談させていただきます、農地の有効活用を図っていきたくと考えています。

なお、この事業を用いて農地を再生させた場合、そのまま地権者の方が耕作することはできません。また、再生した農地を他の農業者へ貸し、それに対して賃貸料をいただくことはできません。さらに、山林化が著しい農地についてもこの事業の対象とはなりませんのでご注意ください。

この事業についてのお問い合わせ、その他農地・営農に関するご相談等は、筑北村営農支援センター事務局までご連絡ください。

◆筑北村営農支援センター
事務局 筑北村建設産業課

電話 67-2002



「男女共同参画」って

何だろう？ V

男女共同参画計画策定委員会

委員会では、計画策定にあたり、住民が色々な形でかかわって、地域にふさわしい具体的な内容を盛り込んだ計画となるよう、村内にお住まいの20～70歳代の方の中から無作為に抽出した男女各120人にアンケート調査を実施しました。

アンケートでは、さまざまな分野の中から34項目について尋ねています。

（抜粋）

問 あなたが考える「男女共同参画社会」はどのような社会ですか。

問 「男は仕事、女は家庭」という性別によって役割を固定する考え方をどう思いますか。

問 あなたは家事も重要な労働として評価すべきだと思いますか。

問 自治会などの役員は男性がなっ

たほうが良いと思いますか。

問 結婚しない人が増えている原因は何だと思いますか。

問 あなたは、夫と妻の働き方について、どのようにお考えですか。

問 あなたの生活における「仕事」「家庭」「地域、個人の生活」の優先度は？

問 あなたの地区の区会や常会は女性が出た時に発言し易い雰囲気ですか。

問 男女共同参画を推進するためにあなたには何ができますか。

調査に回答いただいた皆さんには、お忙しい中ご協力いただきありがとうございます。

ご回答いただいたアンケートは、集計の後、委員会で結果を分析し、問題解決に役立つ情報を引き出し検討します。

今回は、アンケートという形で皆さんの声をお聞きしましたが、今後地域が抱えるさまざまな課題を、改めて男女共同参画の視点で見直す作業を進めていき、計画に反映したいと思います。

筑北村議会だより

第26号

平成22年3月19日発行

編集 筑北村議会だより編集委員
〒399-7601

長野県東筑摩郡筑北村坂北2187番地

電話 0263-66-2211

FAX 0263-66-3656

ホームページ

http://www.vill.chikuhoku.nagano.jp

本会議の映像は

筑北村ホームページから

ご覧になれます。

議会12月定例会

一般質問

12月定例会の一般質問は12月19日に行われ、11人の議員が村政を問いました。

筑北村の教育のあり方

について

山崎 広道 議員

質問 教育委員会より、教育行政に力強い推進と支援を願いたく上申書が村長に提出された。

この上申書に沿った保育園や小・中学校の望ましい配置、整備を何年度から実施するのか、また、今後の取り組み方針を伺う。

村長 上申書の中で、特に保育園、小・中学校の配置については、麻績村との関係もあるので、両村で

協議する中で、今後のあり方を決めていくことが大きな方向であり、麻績村においても同様に現在検討が進んでいると聞いている。村としては、上申された内容の検討を行うと同時に、将来課題もあるので順次計画を立てて協議を重ねていきたい。また、麻績村との共同歩調で対応が必要な部分については、両村で合同協議の場を設けて、そこで具体的な詰めをしていきたいと考えている。タイムスケジュールは、そうした議論の中でなるべく早く実現を目指して検討していけるよう考えている。

筑北村の子育て支援事業

の充実について

質問 子育て支援課に専門職を配置することや現在使用している坂井児童館内の事務所は手狭である

自衛官等募集のお知らせ

防衛省では、下記の子定で平成22年度各募集種目の受付及び採用試験を実施します。

募集種目	応募資格	受付期間	試験日
予備自衛官補 (男女)	一般 18歳以上34歳未満	22年 1月12日 ～4月9日	一般 4月18日 技能 4月17日～19日の間で いずれか1日
	技能 18歳以上で保有する技能 に応じ53歳～55歳未満		
幹部候補生 (男女)	一般・ 技術 20歳以上26歳未満(22 歳未満の者は大卒(見込 含))(大学院修士学位取 得者は28歳未満)	22年 4月1日 ～5月10日	1次試験 5月15日・16日 (16日は飛行要員のみ) 2次試験 6月15日～17日の指定 する日 3次試験(飛行要員のみ) 7月中旬～8月上旬
	専門の大卒(見込含) 20歳以上30歳未満 薬剤は26歳未満 (薬学修士学位取得者は 28歳未満)		
一般曹候補生 (男女)	18歳以上27歳未満 (対象:大学生・一般)	22年 4月1日 ～5月10日	1次試験 5月22日 2次試験 6月26日
医科・歯科幹部	医師・歯科医師の免許取 得者	22年 4月1日 ～5月10日	5月21日

●お問い合わせ先

自衛隊長野地方協力本部松本地域事務所・広報センター「信濃」
松本市深志2-6-5 マルナカ深志ビル1F 電話: 36-2787

人権擁護委員が代わりました

任期満了により退任された宮崎茂子さんに代わり、平成22年1月1日より**久保田博子さん**(本城地域)が人権擁護委員に委嘱されました。任期は3年間です。

筑北村では4名の人権擁護委員が心配事や人権に関する問題についての相談活動などを行っていきます。お気軽にご相談ください。

相談等のお問い合わせは、住民福祉課福祉係まで
電話 66-2111

ので、事務所を整備することが必要ではないか。また、事業を進めるにあたって住民福祉課、保育園や教育委員会との連携が必要であると思うがどのように考えているか。

村長 子どもを一貫して育てていくには、組織機構の一体化と継続性のある取り組みが必要であるので、内部的な論議を詰めて速やかに対応できるよう検討していきたい。

子育て支援課長 子育てで大事な

時期である、母親のお腹にいるときから3歳あるいは6歳までにいかに愛着を持つて接することができるといいうことに視点を置いて支援ができるかどうか、また、課題のある子どもや発達障害を持った子どもの対応をどうしていくのが課題である。

役場の内部で課を越えた横の連携を図ることで、今まで以上にシステムを強化していきたい。また、関係する職員の充実を図っていきたいと考えている。

効率的な子育て支援をするには、それぞれの年齢に合った時期がある。その時期にいかに支援するかという点に視点を置き、専門知識も取り入れて子育て支援をしていきたい。

国道403号新矢越

トンネル着工について

市川 厚夫 議員

質問 国道403号新矢越トンネルの早期完成は、村民の切なる願いである。政権交代もあり今後の展望と取組みについて伺う。

村長 民主党政権になり事業仕分けも行われ、先行きが不透明の状態にある。国のしっかりとした予算が明示されないと県の予算も成り立たないという相互関係があるので、麻績村とともに国、県に対する要望活動や折衝を鋭意展開していきたいと考えている。

村営施設(温泉等)について

質問 温泉3施設へ5500万円を一般会計から繰入れている状況にあるので、経営改善を図るため、民間委託することができないか。また、リム化にもつながると思うが如何か。

村長 クアハウスなど指定管理者を募集したところ、引き受け手がなかったという経緯がある。現行の3施設を特徴ある施設として位置付

けることにより経営改善を図り、整合性ある形で進めていくことが必要である。

雇用対策について

質問 村長公約の中に地域内雇用100人と約束されているが具体的に説明を伺う。

村長 具体策としては、一、企業の農業をこの地域に興す。二、農産品を加工した商品開発をする。三、介護、福祉、教育とか健康関連の分野で事業化していく等を考えている。

他には都市との交流事業を重視すること等で関連施設が整うことにより雇用が生まれてくると考えている。

麻績村との合併について

質問 筑北地域は麻績村を含めて一つだと思う。学校、保育園の統合問題、国道403号の改良工事等、麻績村と関連することがあると思うが、今後の進め方を伺う。

村長 麻績村の村長選の結果を注視しながら、まずは、お互いに話し合いを持ち、先方の理解を十分得ながら検討できるように配慮していきたい。

地域産業の振興について

質問 遊休荒廃地の活用と対策や地産地消を推進するために、直売所に販路を求めるだけではなく、学校給食にも活用することができないか伺う。

建設産業課長 国では耕作放棄地を平成23年度までに解消するため耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業を行っている。県、村でもこの事業を活用し遊休荒廃地にソバやナタネの作付け、また、小麦、大豆、雑穀等の栽培に奨励金を交付している。

学校教育課長 村内で採れた食材を使用することを基本に、直売所から購入し、子ども達に食育指導を行い、おいしく食べている。

この外、「産業誘致について」の質問を行いました。

政府の仕分け作業が

村に与える影響について

宮島義次議員

質問 政府において事業仕分けが行われ、村の事業や財政面への影響が懸念されるが、どのような状況に

なっているか。

村長 国からの情報は非常に透明度が低く苦慮しているが、総じて村に対する大幅な影響はないと感じている。政府は地方交付税も1兆1千億円以上さらに復活しようとしている。

使い勝手のよい財源が村へ移譲されているので、村づくりを進めていく上で期待感はあるが、村への配分については不透明である。

総務課長 地方交付税は、制度の抜本的な見直しを行うことになっている。内容的なものが示されていないので厳しい目での予算計上となる。まちづくり交付金は、事業の実施を村の判断に任せるとの回答が出されているが、任せられる部分が具体的に示されていない。予算的にも減額となっている。農山漁村活性化交付金も同様に削減となっている。

いずれにしても具体的にどうなるのか不透明で、今後国の予算編成で明らかになってくると思われるので、村の予算編成も、例年よりはズレ込んだ対応をしていかなければならない。

有害鳥獣対策について

質問 有害獣のシカ、イノシシは農

絞ってハード面の充実、熟度を上げて計画策定と実行を目指していく。

質問 平成22年度予算編成の中でも新過疎法の存続は重要課題であり、村と議会が一体となって、県、国への要望活動を提案するが如何か。

村長 新過疎法が現段階では議員立法で提案されるようなので、展望が開かれつつある。新法では過疎地域固有の価値、特性等を生かしたソフト事業により過疎地域の活性化が図られることとなる。村の特性、価値を生かした村づくりの企画提案力により、村民益につなげるよう慎重かつ前向きな村政運営に努めたい。

平成20年度歳入歳出

決算書の未収金について

田口茂議員

質問 平成20年度の決算における未収金について、その発生原因はどこにあるのか伺う。

村長 平等な村政運営という観点からすると、この未収状況は放置できないが、今日のような経済的な不況が続いていくと、財政的に払っていただけない方がいる。あるいは納

業に大きな被害を与え、生産意欲の減退と農地の荒廃化が加速することが心配される。村ではどのような対策、支援策をとっているか伺う。

村長 地域の大きな課題として受け止めている。年々被害が拡大し、それを抑える皆さんは高齢化が進み、有害獣に押されぎみの状況で推移している。

今後は防衛より個体調節など的一步踏み込んだ対策を行うことが必要であり、報奨金のようなものも検討していきたい。

建設産業課長 有害獣対策として、村で所有している電気牧柵86基中83基を貸し出している。

本年度実施している有害獣防除対策事業で、農家が購入した電気牧柵、防御網等の防除対策用品とワナ免許所有者が購入するオリ、ワナの捕獲用品に対し経費の半額を補助しているが、1500万円の予算で500万円にも満たないのが現状である。そのほか個体調節を目的として猟友会に具体的な数字の目標を示して捕獲を委託している。

補助申請時期の通年受付については、今後検討したい。また補助率の引き上げは2分の1に引き上げた経過があり、22年度の事業につい

税意識の点で村民の義務をきちっと果たすという公德心に欠けるというような向きも一部あるので懸念している。

総務課長 現在、使用料等は、年度内にほぼ全額が収納されている。村税等の滞納繰越金の徴収は、12%程に止まっている。

住民福祉課長 国保税の未収金、滞納金が生じることは制度の根幹を揺るがす重大な事項と受け止めている。今後は収納率を上げる対策を検討していきたい。

上下水道課長 未収金の総額を減らしていくように検討していく。

質問 滞納整理について何か法的な措置等を講じているのか。

村長 財産の処分を含めた滞納整理を村が行うことは大変であり、今、滞納金を徴収するために、県と県下全市町村による共同の徴収機構を立ち上げるよう協議が進んでいる。

総務課長 滞納整理の事務は、滞納処分に向けて電話や訪問による催告を行い、県税徴税対策室と協同して催告書の発送、職場への給与照会等を行っている。

質問 滞納税の解消対策、職員の徴収意欲、村民の納税意識をどうやって高めていくのか伺う。

村長 我が村は自主財源比率が13%前後で自主財政力の乏しい村であり、今後自立して地域をよくするには、お互いに負担すべきは負担し、村をよくしていくという共通の思いが必要である。

また、収納率向上のため、徴収の任に当たる職員はもちろん全職員が共通した認識を持つよう機運を醸成していきたい。

総務課長 税務担当課が主管となつて、それぞれ催告書などを共同封入して送付している。今後も各係と連携し徴収に努めたい。

質問 「明日を拓く元気な村づくり」のためにも、税、負担金の徴収は大事であり、村民、職員に税に対する意識を一層高めていく努力をするよう要望する。

社会福祉協議会の

会長職について

質問 事業を委託する側と受託側のトップが同一人というのは如何なものか、歴代の村長と同様に社会福祉協議会の会長に就任するのか伺う。

村長 会長を兼務するのは好ましくないと考えている。12月10日の社

協の理事会で今まで副会長の宮入範吉さんを選任した。

温泉施設の今後の

取り組みについて

柳澤忠議員

質問 温泉施設が毎年多額の繰り入れになっているが、施設の運営に無駄がないか、企業感覚で取り組んでいるか、日の丸体質で運営していないかなど多方面から見直しが必要ではないか。

村長は公約で、施設の赤字の解消を掲げ、温泉施設の建て直しを図るとしているが、住民に分かりやすいようにその構想を伺う。

村長 現在は同じような温泉施設が村内に3か所あるので、これらを特区化して、それぞれ特徴ある施設にする必要がある。

例えば、とくらは、都市との交流のための拠点宿泊センター、坂北荘は、高齢者の自立支援交流センター、冠着荘は、健康増進ゾーンというように特徴ある施設とすることで、利用者の満足度を高めることができる。これが経営の基本であり、第3セクターもしくは指定管理者

など特性を生かせるプロとしての経営体制が必要である。

一番の書き入れ時である年末年始に休業しているようなサービス体制を克服しない限り、温泉施設の改善は出来ないと考える。

質問 経営は、経費の削減が不可欠である。坂北荘については、赤字だといって繰り入れに頼るのではなく、人件費の削減もするべきではないかという意見もある。早急に改善に取り組んでほしい。

村長 坂北荘については、早急に経営改善に着手したい。また、3施設の繰り入れが数千万円になるという状態は放置できない。少なくとも半分以下にするための具体策を年次計画をたてて展開したいと考えている。

インターネット活用で

全国への情報発信について

質問 村長は、村の活性化には都市との交流を図り、交流人口を増やし、村の良さをアピールしていくとしているが、その実現の一つに、インターネット活用がある。

しかしながら、専門職員がいないため、手が掛けられず、村のホーム

揺らぐことにあるので、健康寿命を延ばし、生涯現役で人生を全うできる長寿の里になれば、将来の光は見えてくるはずである。

また、交流人口を増やし、農業を軸とする地域内産業を振興することにより、雇用確保に努め、更に国道403号の整備により、生活基盤を整えていきたい。そのための機関車役として役場職員の英知を結集し、公約実現に向け取り組んでいく。

役場職員の規律について

質問 地域住民より職員の規律が乱れているとの声を耳にする。内部教育の状況について伺う。

村長 ご指摘の点は職員共々肝に銘じて対応していく。行政の品質を高め、住民満足度を高められる村政運営を心がけていきたい。

総務課長 各職場において、常に住民の視点に立ち、信頼される職員像についての指導を担当課長が行っているが、今後は更に職員教育を徹底していく。

「すぐやる係」の

新設について

質問 住民からの要望、苦情等に

即答するため「すぐやる係」を新設し、住民サービス向上につなげたらどうか伺う。

村長 日常生活上支障のあるような事象が発生した時には、住民の協働、助け合いをベースにそこで行う課題に対し、役場職員も可能な範囲で参加、協働活動を支援する体制を軌道に乗せることが先決であり、係の新設は当面見送る。

村長の施政方針について

前山健治議員

質問 新年度の一般会計当初予算の編成の考え、予算のポイントは。また重点施策として、職員の一体感を高めることや庁舎の効率の運用を含め、組織機構の見直し等、早急に方向性を検討したらと思うが村長の考えを伺う。

村長 具体的に新年度何をどうするかというところまで詰まってはいないので、しばらく時間をいただき順次提案していきたい。

子育て支援策については、教育委員会からの上申もあり、重点事項として取り組んでいく必要があると認識している。

ページは古臭くて見る気がしないという声もある。また、村の良さが分からない業者に委託し、お金を掛けるのではなく、自分が住んでいる村の良さを知る人が携わることで、村のホームページを見た人には説得力が高まる。インターネットの活用について伺う。

村長 ホームページを活用した情報発信は時代に適応した主要な手段である。これには三つの要素があり、一、内容が見る側にとって魅力があること。二、伝え方にセンスがあり、飛びつくような地域の良さをきちんと伝えていくこと。三、情報の鮮度が大切である。

一年前のホームページが更新されないのは困るので、前向きに取り組んでいきたい。

質問 ブログ方式で、村の新しい情報をどんどん発信していけば筑北村の関心度も高まる。住民からの情報やボランティアの協力を仰ぎながら取り組んでほしい。

この外、「交通安全対策推進協議会の設立について」「防犯灯の電気料金について」「合併浄化槽エアーポンプの電気料個人負担見直しについて」「アルピコタクシーの筑北村からの撤退について」の質問を行いました。

職員の一体感をさらに強めていくための組織機構については、今後検討することではあるが、麻績村の合併も視野に入れ、筑北における望ましい行政機構のあり方を考えた場合、例えば、どこかへ集中して物理的な環境を整える中で一体感を高めるやり方とネットワーク型で情報系を強化しながら、一体感を保持する方法の二つあると思う。将来的な展望を考えた場合、一ヶ所集中方式よりいくつかの拠点を地域に残して効率的な運用の方法を探ってきたい。

質問 職員の一体感が高められるよう庁舎の効率的な活用など重要な課題である。機会あるごとに議論をして、よい方向になればと思う。村づくり推進室も2月1日発足の予定とのこと、村民の民意を聞き、対応することを要望する。

公民館の統合について

質問 合併後の公民館は中央公民館長、本城、坂北、坂井にそれぞれ館長を置いているが、新聞報道で2館に統合したらとの内容の記事が掲載された。住民の意見、公民館運営審議会等で議論をつくし、説明責任を明確にしたらと思うが

如何か。

生涯学習課長 公民館の統合にあたっては、公民館運営審議会、行政改革推進会議等での審議、住民の意見を聞きながら、慎重に進めていきたいと考えている。

村長 今後の村づくりの中で、公民館が果たす役割を考え、教育委員会、子育て支援の観点あるいは、生涯学習の観点などを加えて議論を深めていきたい。

国道403号新矢越トンネル開通に向けての今後の対策について

質問 国道403号道路整備期成同盟会の会長に就任すると思うが、その決意を伺う。

また、各種団体や住民参加の決起大会の開催等、村長の考えは如何か。

村長 会長は、前関森村長が務めており、地元の村長が引き継ぐことになると思う。立場を認識して20年来の悲願である早期開通に向け全力を尽くしたい。

建設産業課長 住民総決起集会等については、新年度予算づけを見極

めた上で検討していきたい。

平成22年度予算編成について

山崎好弘議員

質問 景気が低迷し、百年に一度の経済危機で、私共がかつて経験したことのないデフレ経済が進行している。失業者が増加し、給料等も減額が続いている。国の予算も大変厳しい中、交付金等の減少も予想される。飯森村政初の平成22年度予算編成の方針と成長戦略を伺う。

村長 平成22年度予算編成にむけて当村の財政状況は公債比率が21・6%、経常収支比率が平成20年度決算では86・5%であり、依然として硬直状態にある。自由選択の弾力性が乏しい財政構造にあるが、長期的に村を元気にしていくために、交流人口が増え、若者が定着して子どもがたくさん生まれ、そこへ村外から移住者も加わる形が理想である。そのために産業の振興、受入環境の整備に努めていきたい。

高齢化対策としては、生涯現役で、人生を全う出来る長寿の里づくりに、温泉施設の活用を含めて必

要な予算を確保したい。厳しい中にも工夫をし、限られた予算を活かしていきたい。

質問 厳しい経済状況の中で年度末を迎える。給料は減少傾向にあるので、経費の削減に努め、住民負担が増えないよう要望する。

麻績村との合併について

質問 筑北の将来を展望し、教育の面から麻績村との合併を伺う。

筑北地域は人口減少傾向が続き、児童、生徒数も大きく減少している。保育園、小・中学校の再編や統合は地域の大きな課題である。

教育委員会より筑北村の教育のあり方についての上申書が村長に提出されている。来年4月1日には松本市に中・高一貫校が誕生するなど教育環境が大きく変わりつつある。一定数の規模の生徒がいないと切磋琢磨し、部活動、教職員の定数にも影響する。筑北地域全体の課題として、麻績村との合併を要望するが如何か。

村長 小・中学校の再編は、麻績村との関係を抜きにしては完成しない。子育て日本一の里として、新しく魅力ある地域を作っていきたい。麻績村との合併は、重要な課題であ

り、早急にこちらから働き掛けていく考えである。

この外、「国道403号新矢越トンネル建設促進について」「村営温泉施設について」「障害者自立センター入口の信号機設置について」の質問を行いました。

麻績村との合併推進について

宮下隆文議員

質問 麻績村との合併について、村内にも批判的な人もかなりいる。また、麻績村でも半分の方は自立を目指しているという中で、合併実現に向けた機運の醸成についてどのように考えるか伺う。

村長 当面二つの課題があると考えている。一、合併を先行した我が村が、合併のメリットを生かした中味づくりをしっかりやっていく必要がある。合併しなければこの新しい時代に適応する村づくりが出来ないという取り組みを起こし、相手側にも発信していきたい。二、首長や議会レベル等といった村の運営に責任を持つ方が虚心坦懐に話し合いの場を持つていくことが、局面を打

開する第一歩であると考えている。

質問 行政面ばかりではなく、行事等を共同で開催するなど合併機運を醸成する考えはないか。

村長 関係する部署で、さらに前向きに詰めて、必要な範囲で実施できるよう支援していきたい。

医療費、介護料の低減方策について

質問 各種資料によると当村の医療費、介護保険料は県内でも非常に高いが、その低減方策をどう考えているか。

村長 特定検診を実施し、個別指導の体制はかなり進展しているが、受診率が低いので、これを高める必要がある。

また、毎日「一万歩」歩くと良いといわれているが、足や腰が痛い人は温水プールでしっかり歩くことを習慣付けしてもらえば、健康寿命が延び、医療費、介護保険料が下がることにつながるのではないか。また、対処療法的に行うことより、前向きに健康度アップへの取り組みを織り込みたい。

質問 クアハウスのプールを活用するということのようだが、スポ

ーットレーナー等の健康指導者を配置する考えはないか。

村長 ハード面だけ整えてもメリットは生まれない。しっかりしたトレーナーをつけて参加してもらう方が健康増進につながる。

健康トレーナーを配置して、人件費をかけても結果として、医療費や介護保険料が低くなれば、村全体としてプラスになると思われる。経費の試算をして、判断していきたい。

この外、「農業振興策について」の質問を行いました。

筑北村健康増進構想について

宮澤信雄議員

質問 坂井地域にある村営施設を中心とした筑北村健康増進構想の選挙公約のチラシが坂井地域の家庭に配布された。その中で示された冠着荘を核とした健康増進構想の村づくりについて伺う。

村長 高齢化、人口減が進んだ場合、医療費、介護保険費が膨らんでくることになる。健康づくりを推進することは村の財政力、体制が弱く

なつたときを想定すると、将来の不安を克服していくための重要な方策として考えている。同時に住民生活の安定、向上という面からも健康事業を伸ばしていくことは行政としても最大限の支援をしていく必要がある。

健康増進についての基本は、自らの健康は自らが作っていくという自立的な健康づくりがポイントとなる。原点は「食と運動」といわれており、村内の資源を点検すると坂井地域には冠着荘を中心に関連する施設が先行投資、整備されており、素材は集積している。これらをよく生かして、健康増進メニューをつくり、商品化していくことにより健康増進スポットになると思っている。

質問 愛・希望・光を実現するため村を革新するとアピールされているが、筑北村の村づくり構想に対して今回の構想に至った考え方を伺う。

村長 村をよくするため、企業経営の発想で村を一度見直してみる必要があると考えている。

この地域に來られるお客様のニーズの中で、最も高いのは何かをリストアップすると少子高齢化社会

の中で、健康増進がキーワードとなる。この健康増進のための経営資源が最も集積している場所は坂井地域で、先行投資した資源を生かした新しいメニューができる。

旧坂井村の村づくり構想は今でも生きているので、ソフトの部分をしつかり開発し、資源を生かす振興策をつくつていきたいと考えている。

議会第1回臨時会

平成22年第1回臨時会が1月20日に会期1日で開会されました。

議決された議案は、次のとおりです。

◆平成21年度筑北村一般会計補正予算(第5号)について

歳入歳出それぞれ496万2千円を追加し、総額50億8358万3千円とするもので、耕作放棄地再生事業(ナタネ採油機設置関連)が主な内容です。

◆筑北村教育委員の任命について
倉下正弘氏(坂北)の任命に同意しました。

筑北村 公民館報

第26号

平成22年3月19日発行

〒399-7711
長野県東筑摩郡筑北村坂井5711-1
電話 0263-67-1161
FAX 0263-67-2170
ホームページ
<http://www.vill.chikuhoku.nagano.jp>

着任のごあいさつ



教育長
倉下 正弘

この度、2月1日に教育長として着任いたしました。一般職として、旧坂北村役場、筑北村役場、温泉施設とくらは、村民の皆さんを始め多くの方々のお力添えをいただき、本当にありがとうございました。大役をお引き受けいたしましたからには、精一杯の努力をしてみたいと思いますので、ご指導・ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

昨今の教育を取り巻く環境は、全国的にも大きく変わろうとしております。当村においても、「筑北村教育のあり方検討委員会」が村長に対して上申書を提出しました。小学校、中学校の統廃合・小中一貫校についても触れています。子どもの健やかな成長の為に、小学校・地域がまさに一

体となって取り組んで行くべきことが山積みしております。この村の、この地域の未来を背負って行く子ども達ですから、山河を駆け巡りながら育ったこの故郷に、何時の日か必ず戻ってくる教育を行うこと、そのうえで戻れる環境づくりを並行して行っていくことが大切と考えます。

又、生涯学習については、人生を豊かに生きがいをもつて送ることが、健康で長生きをするうえでとても大切なことと考えます。公民館活動と住民福祉課をはじめ行政との意思統一を更に図りながら、一人でも多くの方々が参加しやすく、意義のある講座等を実施していきたいと考えます。

人間の一生をどのように送るか。大きな命題に直面しておりますが、故郷をこよなく愛し、そこに暮らす人々が仲良く幸せに日々を送れる手助けができれば幸いと考えております。

どうぞ宜しくお願いいたします。

大好評だった 平成21年度筑北シニア大学

5月に始まった筑北シニア大学も2月12日、本年度最後の講座が行われました。今回は、延期になっていた「歌声喫茶」と「閉講式」を行いました。

当日は90名の受講者が13班に分かれ、宮入清子先生のピアノ伴奏で第1部「季節はめぐる」春から冬の歌12曲、第2部「心の歌」5曲の全17曲を熱唱しました。美味しいお菓子と飲み物で喉を潤しながら、受講者の歌声と表情は最高に輝いていました。



「歌声喫茶」終了後に行われた閉校式では、6名の皆さんが皆勤賞を受賞されました。



今年度は、合同講座5回と地域講座3回の全8回の講座を開催しました。一年間のアンケートの中には、「歌声喫茶」や「村外講座」が良かったと大勢の声がありました。22年度も充実した講座にしていきたいと思えます。

電子黒板導入

―学校ICT環境整備事業―

筑北村各小中学校に、今話題の電子黒板が導入されました。世界金融危機に対する追加経済対策の一環として平成21年度補正予算で事業化された学校ICT環境整備事業の一つです。ICTとは、情報通信技術という意味です。

学校ICT環境整備事業の内容には、テレビ放送のデジタル化に対応できるテレビやアンテナの設置、コンピュータやコンピュータ周辺機器（デジタルカメラ、プロジェクタ、DVDプレーヤー等）の整備、校内放送機器の更新、電子黒板の整備などがあります。

筑北村では、各小中学校ほぼ均等に整備しました。



【電子黒板】

一月初めに設置され、授業に活用しています。動画が見られたり、タッチパネルで直接さわれたり、音声が出力され、子どもが興味をもって学習できます。また、教師は、黒板に向かつて書く時間が減り、子どもの反応を見ながら授業を進められ、一人一人の支援の時間を多く取れます。デジタル教科書を使うと、その日学習するページをそのまま画面に映し出すこともできます。

電子黒板を使った感想を子どもたちに聞いてみました。

- ・黒板に教科書が出て、ページもボタン一つでめくれる。
- ・画面の教科書に直接答えを書いても、ワンタッチで消してまた使える。
- ・クリアを押すと、次々に発表ができ、自分のだけではなく友だちの考えも見られる。
- ・絵をタッチすると、ネイティブな発音の英語を何回も聞くことができる。

最新の機器を活用し、分かる授業の実現や子どもの情報活用能力の育成に役立てていきます。

生涯学習推進への支援 「教育ボランティア講座」閉講

「ボランティア活動」の大事さが、叫ばれ「高齢者施設での奉仕活動、地域の草刈り、子育て支援など」、筑北村では活発な活動が展開されております。

しかし、生涯学習発展のために、まだ皆さんのお力をお借りしたい事が山積みしております。

●学校教育への支援

（郷土学習やクラブ活動での地域の特産物作り・スポーツ指導・民俗・歴史・文化財学習等）

●子ども活動・育成会活動支援

（野外活動・冒険・自然観察・キャンプ・昔の遊び・工作、節句行事伝承、読み聞かせ等）

●公民館講座の支援

（講座の実技補助、準備・後始末、資料作り・運営手伝い）

●文化財・歴史民俗資料館の充実 整備・資料作り、案内など

少しお手伝いしていただけたら、もっと素晴らしい学習が展開できるのにとの願いから設定されたのが、名前は硬いですが「教育ボランティア講座」。

応募者19名、講師7名による講



- ・放課後児童支援施設で学習を教える人。
 - ・手が届かないでいた文化祭のステージバック作り他。
 - ・「子ども教室」での紙芝居上演、お菓子作り、紙飛行機組み立て「シニア大学」の手伝い。
 - ・筑北村の「街道宿場めぐり」「社寺めぐり」「城館跡・古墳めぐり」等ガイドブック作成。
 - ・民俗資料館の整備支援等。
- 受講者の皆さんの精力的なボランティア実践が開始されました。今後はぜひ多くの皆さん方も一緒に、これからの活動に加わってくださる事を願っております。

坂井地域サークル紹介

ちくちく

「パッチワーク教室」

今回は「パッチワーク教室」の活動を紹介します。この「パッチワーク教室」は約17年前から続いている歴史のある教室です。講師に坂北地域の高野昭代先生をお迎えし、坂井公民館を会場に毎月1回、第3火曜日の19時30分～22時まで（冬期間は異なります。）8名で活動しています。

す。この日も皆さん和気あいあいと楽しそうに針を動かされていていました。布の手触り、暖かみを感じながら、時間をかけて作品を作るのがパッチワークの魅力だとおっしゃっていました。

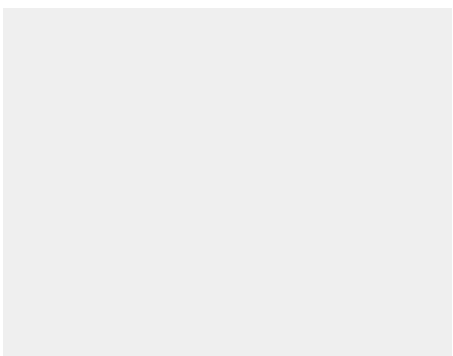
第2回 坂井っ子発表会

「〇〇を伝えたい」

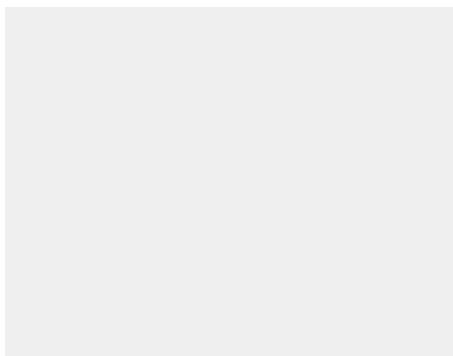
坂井小学校では、昨大好評だった「坂井っ子発表会」を今年も行いました。この一年間の総合学習で、子供達は何を知り、何を失敗して、何を得たか。それをどう伝えるかを考え、全校で発表し合いました。

1年生は「ぼくたちの『虫の大冒険』（寸劇）大好きな虫たちと話したいと感じたのが始まり。2年生は、「羊さんを返さないで!!」。1年間という約束で借りた羊たちと過ごす内に大好きになり、お別れの日が迫る切なさを感じました。

けることで、稲が生き生きと育っていく事を知りました。



4年生は「学校の畑の下から出てきたレンガ」社会科で水道の勉強をしていた時、昔の作業での配管工事を体験しようと、皆で畑を掘っていたら、何百という数のレンガを発見。これは何を意味するのか？ワクワクしました。5年生は、「私たちの『米作り』」手間をか

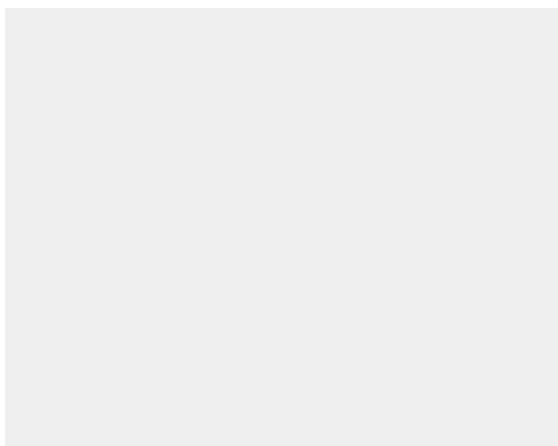


6年生は3月6日公演予定のミュージカル「坂井のほたる物語」カーテンコールでした。（次号に掲載）みずなら学級は「畑を作ろう」ジャガイモ等収穫できた野菜で、他の学年に料理を振舞いました。

小学生太鼓教室

「元氣太鼓」

小学4年生から6年生を対象とした小学生太鼓教室。公民館の教室となり6年目になります。今年度は5年生の宮島大和さん、4年生の大橋麻里佳さん、西村奈津さん、宮下歩弥さん、宮島大空さんの5名で活動しています。毎週木曜日の18時から19時まで、杉崎の山田充彦さんに指導してもらっています。



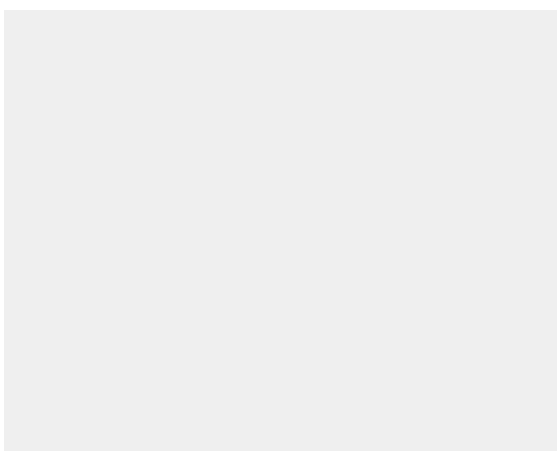
「桶胴」という一番大きな太鼓を叩いていた宮島大空さんは、「疲れる、肩が痛い」と言いながらも元気に叩いていました。

山田さんによると、「6年生のやるような内容を4・5年生でしています。ふざけながらですが、ここきてまよってききました。あと半年ぐらいあれば、人前で発表できるのですが」ということです。例年であれば6年生の経験者が下の学年の子どもを教えたりという姿もあるのですが、今年度は初心者ばかりです。でも、熱心に休むことなく、みんな練習にきています。ぜひ、来年度も続けてほしいものです。

講評をお願いした、教育センター専門主事吉越秀之先生から「『何故?』と考えることで、今までと景色は変わる。皆が実際にやって来た事だから、面白かった。大変さを伝えるのに、それぞれの工夫があった」と話しました。

赤鬼、青鬼がやってきた!

坂井保育園「豆まき会」



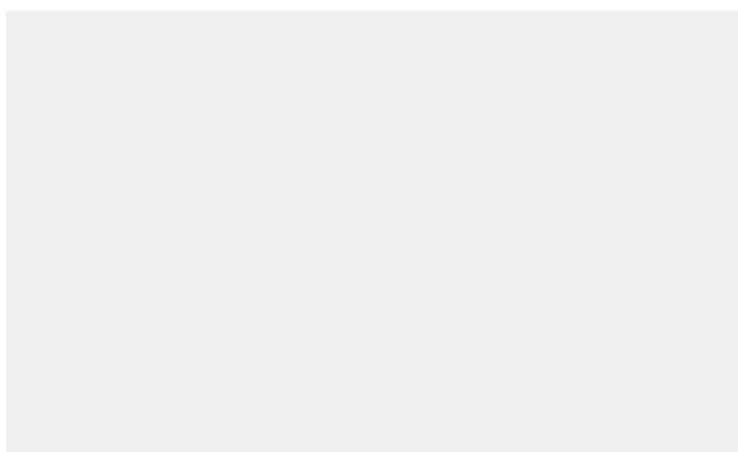
2月3日（木）、坂井保育園では豆まき会が行われました。園長先生から節分の由来を聞いたり、イワシの頭やひいらぎを実際に触ったり、匂いをかいだりしました。子ども達は自分達で作った鬼の面と豆入れ

鬼は～外!
福は～内!



を持ち、保育室など様々な場所に元氣よく豆をまきました。最後に遊戯室に戻ると、大きな赤鬼と、筋肉むきむきの青鬼が登場。場は一瞬で緊張した空気になりました。

子どもたちは怖がりながらも一生懸命に「鬼は外、福は内!」と豆を投げていました。保育園に現れた鬼たちは子ども達に退治されて山に逃げていきました。



ほんじょう

紙しばい☆紙飛行機☆お菓子作り 子ども教室お楽しみ会

2月20日(土)、中央公民館主催の「子ども教室」が本城公民館で行われました。講師は教育ボランティア講座の子ども班の皆さんと、社会教育指導員の堀田勇先生です。

初めに
「しょうじきこぞうさん」の紙しばいをボランティア講座の皆さんに読んでもらいました。その後、

紙飛行機(グライダー)作り班とお菓子作り班に分かれて作業をしました。
お菓子作り班15名は、女性4名の

講師のもとで、かぼちゃドーナツとリンゴとバナナを餃子の皮で包んで揚げた簡単おやつ餃子を作りました。

飛行機作り班9名は、堀田先生

と3名の指導のもとで、グライダー型の紙飛行機を作り、外に出て紙飛行機を飛ばして遊びました。

お菓子作りに参加した丸山優花さんは、「楽しかった。今度はスポーツもしてみたいな。」と話してくれました。飛行機作りに参加した西澤健太君は「楽しかった。また飛行機を作りたい。」、西澤優介君は「自分の作った飛行機が良く飛んで嬉しかった。今度は釣りやマスカミ、マレットゴルフなど、スポーツもしてみたい。」と話してくれました。

最後はお菓子作り班の作ったお

菓子を頂きながらの会食会です。講師の皆さんは、使い慣れない電気調理器の温度に苦労されたそうです。参加者も多かったので大変だったと思いますが、子どもたちは楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

おじやました

冬の余暇をみんなで歌う会

「岩戸でメロディー」

岩戸地区では、「冬の間だけがすが唱歌、童謡、思い出の愛唱歌などを年齢、男女を問わず皆でうたいましょう。」と松本の合唱団

で活動されている山本裕さんを中心に、地区内の皆さんに呼びかけ、1月から3月の日曜日の午後1時半から1時間ほど、月2回岩戸公民館で「岩戸でメロディー」と題

して歌う会が開催されています。2月28日の会におじやましてお話を伺いました。歌集は賛同者の西村さん3名と山本さんの手作りで、全4冊140曲が収載されているそうです。28日は皆さんから要望のあった「信濃の国」「本城小学校校歌」「聖南中学校校歌」が追加されていました。参加された山本さんは「カラオケで声が出るようになれば良いと思います。楽しい。」「村上さんは「冬は時間があるからね。楽しいよ。」とお話してくださいました。

おひさまの森 誕生会

2月5日子育て支援センターで1・2・3月生まれの未就園児13人の誕生会を開きました。当日は親子やボランティアさんなど50人ほどが出席し、親子で手遊びやリズム体操をしました。誕生月の子どものかんむりに親と子どもがメッセージや絵を描いて作りました。

子どもたちは手形とかんむりのプレゼントをもらって大喜びでした。

本城保育園

お楽しみ会

2月19日本城保育園ではお楽しみ会を開きました。こどもたちはオペレッタに挑戦しました。未満

シールはどれにするかな

てぶくる(年少)

の子どもたちは「大きなおいも(大きなかぶ)」に、年少さんは「てぶくる」年中さんは「5ひきのこやぎとおおかみ」年長さんは「も

5ひきのこやぎとおおかみ(年中)

もたろう」先生がたのユーモラスな「にこにこ合唱団」に大喜びの子どもたちでした。みんなで一生懸命練習し、すてきな発表ができました。

ももたろう(年長)

コラム

最近の私が凝っているものにお菓子作り。公民館主催のシフォンケーキに始まり、特に電子レンジで作る「ういろ」ココア・抹茶・あんなど、さまざまなアレンジができる。水分を増やせば軟らかめに仕上がり食べやすくなる。冬は暇なので家での菓子作りはよいが太ってしまうのが難点である。

やんば

「ういろ」のレシピ

- 薄力粉 70g ●上新粉 30g ●砂糖 80g
 - 水 350cc(ココアのときは水の代わりに牛乳を使用)
- ①ボールに薄力粉、上新粉、砂糖を入れ泡だて器で混ぜ合わせる
 - ②少しずつ水を加えながら泡だて器でまぜ、茶漉しで濾しながら容器に流し込みレンジ(600W)で3分加熱
 - ③半生状態になるので一旦とりだして、箸で全体をぐるぐるかき混ぜる。分離したような状態になっても気にせず混ぜる
 - ④再びラップして4分加熱。ゼリー状になっていたらOK。ラップにとってまきずで巻いて冷蔵庫で冷やす。

さかきた

☆坂北保育園から…☆

『鬼は〜外！福は〜内！』

2月3日に園児による豆まきがありました。みんな面をどうやって作ったかお話ししてくれました。

年長さんは

買い物の紙袋で。年中さん

は紙のお皿で。

年少さんは色

画用紙を切っ

て面に。金棒

まであります。

未満児さんは

色画用紙を折って作りました。みんな立派な鬼の面です。さてどんな鬼がいるかな？人形を使って先生からお話がありました。

砂場で遊

ぶお友達の

所に「ケン

カ鬼」と「泣

き虫鬼」で

も仲良く遊

ぶお友達の

ところには鬼は来ません。

それではみんなで鬼退治の豆まきに。牛乳パックで作った枡の中に炒った大豆を入れて頂き、保育室、テラス、トイレ、先生の部屋、玄関、最後に遊戯室へ戻ってくる

と怖〜い声が！

赤鬼と青鬼が現れた！みんな豆を鬼に投げつける。枡の豆や落ちた豆を拾って投げる。みんな一生懸命鬼退治。鬼は痛くて退散していきました。

鬼が去ってみると、恐くて先生にしがみついている子、ビックリして枡に手を入れたまま真ん丸い目を開けて呆然としている子も。

でも泣いている子はいません。みんな強い良い子です。これで保育園から鬼は退散したので、

みんな仲

良くお友

達とあそ

べるね。

園長先生

から「節

分」のお

話も聞き

ました。

雑奏の会

坂北刈谷沢の公民館できれいな音楽を奏でるグループを紹介します。

きょうこの時を心待ちに

私たちはいそいそ

つどいます。

雑奏でも生き生きと

みんなで輝けたらいいと

私たちはいそいそ

つどいます。

会のテーマソングで練習は始まり四季をおりませた曲や懐かしい曲の練習が行われていました。

身近な楽器ハーモニカを持ち寄って始まった「雑奏の会」ですが、今は太鼓や鉄琴、マラカスなどの楽器を加えて幅のある演奏に取り組んでいます。

代表の宮人とみゑさんは、「最初 は地域の交流の場として始まりましたがみんなで演奏できる楽器と考えたところハーモニカになりました。刈谷沢地区の敬老会で演奏したのをきっかけに披露する場が増えてきました。」と話していました。

練習は毎月一回ですが、この日は一週間後の慰問訪問のための練習に一段と熱が入っていました。

すばらしいですネ

曲を演奏していく中で、お互いにリズムを確認しあったり、鈴などの楽器を加えてみたりとアイデアを出し合って練習をしています。

この会に入って初めてハーモニカを吹いたと言う方もいらっしやいましたが、指導にあたる堀田先生のわかりやすい手作りの楽譜と丁寧なアドバイスのもと上手に楽しく演奏していました。

四年目を迎えた現在は村内をはじめ麻績村、松本市等にも慰問演奏に出掛けています。

坂北小学校

スキー・スケート教室

毎年恒例のこれらの教室は、児童たちの冬の楽しみの一つでもあります。今回は昨年末から流行しているインフルエンザの影響で、開催が危ぶまれましたが、その猛威に負けることなく、予定通り行われた両教室。代表して2名の児童に感想を寄せていただきました。

「楽しかったスキー教室」

4年 高野 雅隆

1月20日、とても晴れわたった空のもと、坂北小学校のスキー教室が行われました。

朝早く、学校に集合し、麻績インターから高速にのり、じいがたけスキー場にむかいました。じいがたけスキー場に着くと、最初に開校式を行いました。目の前に今日のスキー教室でお世話になるコーチの人が並びました。

ぼくたちのグループのコーチはどんな人だろう。優しい人だといいなあ、と思いました。

コーチは優しい人でよかったです。そのコーチといっしょに、みんなでレンタルスキーをかりに行きました。ひさしぶりにはくスキーぐつは、とても重かったです。ぼくは、自分の足って、こんなに重かったかな、と思いました。

最初の練習は、スキーをはいて歩くことでした。横歩きで坂もだんだん速くのぼれるようになりました。下のなだらかな坂で練習した後、いよいよリフトに乗りました。ぼくは、ひさしぶりなのでこわかったです。最初は何回もころびました。で

も、だんだん慣れて上手にすべれるようになりました。みんなとはげまし合いながら、とても楽しいスキー教室ができてよかったです。

「さいごのスケート教室」

2年 山ざき 大き

1月26日に、スケート教室がありました。バスにのって、エムウエーブに行きました。スケートぐつをはいてから、ホッケーリンクに行って、立ち方やころび方を教えてもらいました。

つぎに、スピードリンクですべりました。何回もころんじやったけど、すべっているうちにはやすべれるようになってきました。地下でご飯を食べた後、午後のス

ケートをし

ました。食

べている間

に、こおり

がががみの

ようにツル

ツルになっ

ていたから

さいしよは

ころんだけれど、午前よりはやくす

べれてよかったです。

さいごのスケート教室は、じょうずにすべることができてうれしかったです。

編集後記

館報26号をお届けします。

寒さも和らぎ、柔らかな日差しや、雪の合間から覗く草木に、日ごとに春を感じるようになりました。年の始まりから雪が多く、今年はどうな一年になるのだろうかと思われましたが、2月も半ば過ぎれば、あちらこちらから聞こえてくる春の声。何かが芽吹く春独特の雰囲気誘われて、これから始まる一年に、ウキウキと思いをはせてしまします。よく育ち、よく実る年を願う心に、冬の終わりを感じます。

笑む